



第6回金山遺跡・ 砂金研究フォーラム

博物館からの
お知らせ

- 期 日：平成30年2月3日(土)午後1時～午後5時
- 場 所：博物館 2階映像シアター
- 主 催：博物館応援団 Au 会
- 共 催：甲斐黄金村・湯之奥金山博物館
- 参加費：500円(資料代として)



※各自の研究成果や情報を真面目に発信、誰もが発表者になれる
気軽な討論の場です。どなた様もお気軽にご参加・ご聴講ください。

☆ 当日スケジュール ☆

- 13時～ 開会式・あいさつ
- 13:05～13:25 ① 出月洋文「金山遺跡と炭焼窯について (20分)」
- 13:30～13:45 ② 広瀬義朗(神奈川県)
「韓国慶州の球状金は砂金なのか?分析手法の検討」
- 13:50～14:05 ③ 中村軒一(愛知県) 「坑道巡りと砂金旅」
- 14:10～14:25 ④ 宮坂隆志(長野県)「高遠周辺の金山遺跡について」
- 休憩 15分 ——
- 14:45～15:15 ⑤ 岩井一泰(東京都) 「ギニアの砂金鉱山 (30分)」
- 15:20～15:50 ⑥ 久間英樹(松江工業高専教授)
「鉱山遺跡の3次元レーザ計測結果と絵図との整合性(30分)」
- 15:55～16:10 ⑦ 野村敏郎(兵庫県)
「砂金収集道具の回収率検証実験第2回 スルースボックス」
- 16:10～16:30 ◎全体質問
- 16:30～16:40 閉会式・総評・フォーラム終了
- ポスターセッション(エントランス壁面、シアター壁面にて発表)
- 鈴木 卓也(宮城県) 「北上山地南部の産金と産鉄」
- 福井 玲(岐阜県) 「デジタルファブリケーションを用いたカッチャの製作」
- 福井 玲(岐阜県) 「ディープラーニングによる砂金産地の同定」
- 佐藤 卓生(山形県) 「山形市馬見ヶ崎川流域に伝わる炭焼藤太伝説と唐松観音」

※各発表ごとに5分の質問タイムがあります(15分+5分)
※時間、概況により発表者の順番は変更の可能性があります。

◆お申込み・お問い合わせ◆
湯之奥金山博物館内 応援団事務局まで
電話・FAX・メールにて受付中です。
☎：0556-36-0015
☎：0556-36-0003
✉：yunoking@town.minobu.lg.jp